女子野球を支えた
審判が見た夏

毎年夏盛り上がる甲子園。
その女子版ともいえる全国高等女子硬式野球ユース大会に
審判として参加する JFBU の審判の方々が
どう試合を支えているのかを追う。
まだマイナーともいえる女子野球を広めたい、
女の子だって野球したい!を応援したいと
奮闘する審判の想いを伝えたい。

企画概要

本企画では、女子高校生たちの戦いの場となる大会期間中、
審判として試合に向き合う審判団体の人々に密着する。
試合当日だけでなく、組み合わせ確認や準備、ミーティングなど、
試合前から始まる審判としての仕事を追いながら、グラウンドに立つまでの過程を描く。
審判団体の活動や、創始者・市川さんが女子野球に託してきた想い、
そしてその志を受け継いできた同志たちの姿に加え、
市川さんの娘が本格的に関わる大会として迎える“新しい夏”にも焦点を当てる。

ターゲット像

スポーツに打ち込んでいる小中高生
その子供たちを支える親・指導者
青春スポコンが好きな層

想定放送形態

放送形態：地元テレビ局 夕方の報道番組内特集企画
放送尺：約20分
ジャンル：ドキュメンタリー

構成案

①全国高等女子硬式野球ユース大会とJFBUの説明
②創始者市川三芳さんについて・市川親子の絆
③全国高等女子硬式野球ユース大会の下準備・本番の密着映像
④まとめ

取材協力

- JFBU審判協会
- 全国高等学校女子硬式野球ユース大会 関係者
- 全国高等学校女子硬式野球連盟

出演者

- JFBU審判協会 審判員
- 市川 恵利 氏（JFBU審判協会 広報）
- 女子高校生野球選手・監督等関係者

JFBU 審判協会 Japan future baseball umpiring について
創設者:市川三芳氏
創設年:2018 年 4 月
「2 人制審判」を目指している
※2 人制審判とは
アマチュア野球の審判は通常「4 人制」だが
半分の人数で行う「2 人制」
4 人制だと各塁に審判がいるが 2 人制だとホームベースと
一塁にまず立ち、試合運びによって臨機応変に動く必要がある。